

結果のまとめ

- 認知症あり、女性、高い要介護度、高齢、および地域外サービス利用が費用の高額化と関連していた。
 - 介護サービスにおいて、地域内外で一番差が大きかったのは施設サービスで、一人当たり月に1万3千円だった。
 - 認知症ありの場合、一人当たり月に約3万円の追加費用がかかった。

13

介護費用の関連因子(1/2)

サービス別状況

- 地域外でサービス受けるのは、地域内で受けるより介護費用(介護報酬)がかかる
- 地域外でサービス受ける理由
 - 地域外のサービスの方がアクセスが良い¹
 - 関係者の意向²³
 - 経済的負担と重症度⁴
 - 地域内でのサービス提供の不足

1. Kumar, S., Dansereau, E., & Murray, C. (2014). No. 1405.
2. Caron CD, Ducharme F, Griffith J.(2006) Can J Aging 25:193-205.
3. Sarah Forbes and Nancy Hoffart (1998) Qual Health Res November 8: 736-750,
4. Rosenthal T. (2012) Annu Rev Med. 263(1):493-509

14

介護費用の関連因子(2/2)

認知症	性別	要介護度	年齢
• 認知症あり ¹	• 女性	• 要介護度高い ⁵	• 高齢

考えられる理由

- 徘徊
- ADL/IADL低下
- 合併症²
- 家庭内介護³
- 経済状況⁴
- 給付上限は要介護度ごと違う
- 施設サービス受給者の平均要介護度は3を超えた⁶
- 年齢と共に体が弱くなる

1. Yang, Z. (2012). Health services research, 47(4), 1660-1678.
2. Norton, M. J., Allen, R. S., Lynn Snow, A. A., Michael Hardin, J. J., & Burgio, L. D. (2010). *Aging & Mental Health*, 14(3), 303-309.
3. Slachevsky, A. et al. (2013). *Journal of Alzheimer's Disease*, 35(2), 297-306.
4. 内閣府(2013) 共同参画 平成25年12月号
5. Schwarzkopf, L., Menn, P., Leidl, R., Graessel, E., & Holle, R. (2013). *BMC health services research*, 13(1), 2.
6. 厚生労働省社保審一介護給付費分科会会議資料(2011)介護保険施設について

15

本研究の限界

- 地域ごとの介護資源量、地域差については考慮していない
(人手、施設数、収容ベッド数など)
- 事業所利用の際の利便性については不明
(シャトルバス提供、送迎サービス、市町村境界域在住等)
- 認知症加算の有無で認知症を同定しているため、重症度の影響は考慮できていない
- データベースの中に含まれている変数に制限がある
- 介護の質は測定できない

16

結論

- 京都府介護サービスの約18%の利用者が地域外の介護サービスを利用していた。
- 認知症あり、女性、高い要介護度、高齢、および地域外サービス利用が費用の高額化と関連していた。

17



ご清聴ありがとうございます。

18

研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
HR Lin, T Otsubo, Y Imanaka.	The Effects of Dementia and Long-Term Care Services on the Deterioration of Care-needs Levels of the Elderly in Japan.	Medicine	Vol. 94, No.7	pp e525	2015
國澤 進, 林 慧茹, 猪飼 宏, 大坪 徹 也, 佐々木 典子, 下妻 晃二郎, 今 中 雄一	医療・介護レセプトデー タによる認知症ケアの把 握	日本医療・ 病院管理学 会誌	51 巻 Suppl	221	2014
林慧茹, 山 下 和 人 , 佐々木典子, 猪飼宏, 今 中雄一	認知症を考慮した自地 域外での介護サービス 使用と介護費用の関係 の研究	日本医療・ 病院管理学 会誌	51 巻 Suppl	223	2014

